

会 議 記 録

会議名称	平成 26 年度 第 2 回北本市環境審議会
開会及び 開会日時	平成 26 年 11 月 17 日 (月) 午後 14 時 00 分から 15 時 30 分
開会場所	北本市文化センター 第 3 研修室
議長氏名	会長 堂本 泰章
出席 委員(者) 氏 名	堂本 泰章 白川 容子 伊藤 宏忠 齋藤 叔久 金子 真理子 保角 美代 浅野 昭八 桑原 章郎 猪俣 孝一
欠席 委員(者) 氏 名	福森 秀臣 荻島 和美 斎藤 友男 矢口 光一 伊藤 堅治
説明者の 職 氏 名	環境政策・衛生担当主事 小島 有香子
事務局職 員職氏名	市民経済部長 荒井 光男 くらし安全課長 大島 一秀 環境政策・衛生担当主事 小島 有香子
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 あいさつ</li> <li>3 議事 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)北本市環境基本計画「年次報告書」(平成 26 年度版) について</li> <li>(2)答申(案) について</li> </ul> </li> <li>4 閉会</li> </ol>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北本市環境基本計画「年次報告書」(平成 26 年度版)【事前配布】</li> <li>・ 北本市環境基本計画「年次報告書」(平成 26 年度版) について(答申)案</li> <li>・ 平成 26 年度第一回北本市環境審議会議事録</li> <li>・ 北本市環境審議会委員名簿</li> </ul>

会 議 記 録

発言者	発 言 内 容
堂本会長	<p>1 開 会</p> <p>2 挨拶 環境審議会堂本会長より挨拶 一略一</p> <p>3 議 事 (1)「北本市環境基本計画年次報告書（平成 26 年度版）」について まず、事務局から前回の審議会を受けて修正した点について説明をお願いします。 【事務局が説明】</p>
堂本会長	事務局の説明を受けて、ご意見・ご質問のある方はいらっしゃいますか。市民からの意見はなかったとのことでしたが、昨年はどうでしたか。
事務局	昨年も年次報告書については市民から意見がありませんでした。
伊藤宏忠 委員	計画当初に 5 年後にはこのくらいを目指そうという目標値みたいなものはあったのですか。
堂本会長	計画をつくった際に、市民から目標値を立てた方が良いとの意見もありましたが、行政的に無理があるとの話もありましたので、あいまいなままになっています。
伊藤宏忠 委員	全部を達成することは難しいと思います。ただ、取り組んだことは年次報告書でわかる形になっていますが、取り組んでいないことに対してどうして取り組めなかったのか等がわからない状況です。5 年間あるのでこれくらいというある程度の目標値を決めた方がいいと思いますし、その方が取り組みやすいと思います。
堂本会長	そこを含めて、次回の計画策定の時に市の職員も含めてざっくばらんに意見を言い合うような機会をもてたらと思います。ちなみに、改訂時に市でできるレベルのものではないとのこと、㊦とした目標もありますし、役所の予算の問題等もありますので、そこは次回に向けて重要な議論点かと思います。
浅野委員	河川、緑化の推進等で修正した点について、行政内部の各担当で話し合われて整理した上で、評価されたのだと思いますが、どうなのでしょう。
事務局	年次報告書をつくる際に、毎年各課の担当で進捗評価をしてもらったものを集計しています。前回の審議会ですれでは少し評価が甘いのではないかという意見をもとに、修正させてもらいました。
浅野委員	前回の審議会で情報の発信についての意見もあったと思いますが、答申には反映されていますが、年次報告書のなかで変えた点や話し合われた点などはありますか。
事務局	年次報告書の内容については実績であり、変更はありません。評価について意見があったものは、こういった意見があったので、修正しようという紙のやりとりになります。

## 会 議 記 録

堂本会長	今回パブリックコメントがゼロということでしたので、情報の提供の総合評価がBになっていますが、まだまだ反省しないといけない点があるのかなと感じます。
事務局	パブリックコメントで意見をいただければ、直せるところは直しますし、直接回答はないですが、いただいた意見に対する対応というのはホームページ上で載せております。
白川委員	ホームページ自体がどのくらい見られているのかという問題もあると思います。
事務局	広報等でも載せたいのですが、紙面が限られてきます。あとは情報公開コーナーで見られるようにしていますが、皆さんに広く見てもらえるようにするのは難しいのが現状です。
堂本会長	毎年の年次報告書に対して反応がないということについては、次期の環境基本計画の策定に向けても、情報発信の仕方や、年次報告書のあり方そのものの議論が必要かと思います。せっかくいいものをつくっても、市民に活用されないのはとても残念だと思います。また、関心はあっても、審議会に参加したりパブリックコメントに意見を出したりということはハードルが高いのかなと感じています。そのハードルをどうするのが課題の一つだと思います。
	<b>3 議 事 (2)答申 (案) について</b>
堂本会長	それでは、前回の審議を踏まえて事務局と相談して、答申の案を作成しましたので、これに対してご意見をいただきたいと思います。そのうえで、修正しましたものを皆さんに郵送し、確認いただいたうえで市長に提出という流れになります。
浅野委員	提言の2番目の「市民が学べる学習会」というところですが、職員に対する研修というのをいれていただきたい。職員が北本の環境の現状を理解し、改善提案につながるような内容を研修してもらいたいと思います。また、会長のところでやっているような環境講座を地域ごとで開催することも検討していただければと思います。
堂本会長	ちなみに、現在、職員の新人研修ではどんなことをやっているのですか。
事務局	環境関係ですと、ISO14001の取り組みとして市庁舎の電気使用量がどのくらいでどういった取り組みをしているというような研修はあります。ただ、北本でこういった緑が残っているとか、そういった研修はないです。
堂本会長	生態系保護協会で行っている研修では、武蔵野銀行の職員に対し、荒川で実際に体験しながら研修したり、行政職員ですと土木系の職員に対しての研修が多いですね。市の自然環境等は基本ですので、年次報告書を教科書にして研修会というものをやっていただいてもいいのかなと思います。

## 会 議 記 録

齋藤委員	職員のなかには北本市民でない方も多いと思いますので、現状を把握して改善が図られるという点において進展が難しいように感じます。ですから市民や職員の学習会は必要だと思います。また、提言の3番目は賛成です。特に「環境行政を統括する」というところが必要だと思います。北本市のごみの仕組みは素晴らしいと思いますので、同じように環境活動においても自治会等を活用することも考えられてはどうか。
白川委員	雑木林の会では、市民緑地の活動にご協力くださいと回覧を回しましたが、参加してくれる人はいませんでした。今までに3回ほど自治会回覧で回しても反応はありませんでした。枝を切ってくれという要望だけは寄せられるのですが、残念ながら活動に積極的な参加をしてくれる人はなくてさびしいです。活動に地元の理解は欠かせませんので、会でも会報誌などの発行を考えていますが、啓発・啓蒙活動は続けていかななくてはならないと感じています。
齋藤委員	自治会をもっとうまく活用しなくてはいけないと思います。積極的に参加していただけるよう意識を持たせる働きかけが必要です。
堂本会長	北本市の場合、自治会は活発な方ではないかと思うのですが、どうでしょうか。
浅野委員	自治会は111あって、そのうち60%は毎年自治会長が変わっています。関心のある人は積極的にやってもらえると思いますが、特定の一部の人に限られますので、自治会ごとの活動は難しいと思います。環境問題は、これからはコミュニティ単位で8つの地域ごとに活動していくことが求められるのではないかと思います。コミュニティとの連携が必要だと思います。
金子委員	環境問題というのは個々で取り組む環境問題もありますが、多くは地域だったり、ネットワークをつくることで取り組みが充実すると感じています。個人でできない分をどう行政がコーディネートするか重要ですが、そこはまだまだ弱い部分だと思います。自治会は行政で便利に使うものではなく、自発的に治めていくことが本来の姿であり、行政がそれを促していくところですが、そうっていないのが現状です。かつてはコミュニティも活発でしたが、高齢化だったり周りの環境が変わったりと、いろいろな活動が衰退しています。環境に対する関心呼び起こしていかなければなりません、そこまで至っていないのが現状だと思います。
堂本会長	最初の環境基本計画を策定したときに、進行管理していく市民参加の機関が必要だという話があったのですが、断念したという経緯があります。川越市などはそういったところがあるようですが、上手くいっているかは別として、コミュニティや自治会以外の市民グループを巻き込んだ形の動きがあり、毎年1回発表会などの参加する場がある点での違いは大きいと感じます。越谷市でも、市民と行政と一体となっている活動や、市民グループが増えているようです。
伊藤宏忠	先ほど環境行政を統括するとありましたが、これは課ごとに環境の責任者を置くという形な

## 会 議 記 録

委員	のか、具体的にどういった形を想定しているのか教えてください。
堂本会長	ざっくり書いているのですが、例えば、環境課があり部長職で統括する人がいて初めて環境行政が推進していくとは思っています。
金子委員	環境という名前がつく課がないのは問題だと思います。
伊藤宏忠 委員	仕事をやりながら環境の取り組みもしていくと思いますので、難しいとは思いますが、誰が何をやるかというのは決めておいた方がいいと感じます。
事務局	環境というと、教育や建築にも関わってきますし、様々な課にまたがるものですので、統括する専任の人員とのことですが、実際には事業を進めるにはこの課の決裁が得られないと進められないという形になるのかと思います。
金子委員	北本市の場合、環境基本計画は総合振興計画と同じくらいの重みのある計画であるという意気込みで作られたもので、目標も数値で表せないものも含めてありますし、全庁的に関わるものであるのは当然だと思います。しかし、年数が経つにつれ、担当課もあいまいになってきている面があるようです。環境の計画は重要なものですので、少なくとも担当課がはっきりするようにしていただきたい。
堂本会長	この年次報告書は立派なものですので、それだけに多くの人に活用してもらえないのは残念です。そもそも最近は環境関連全般が国内でもあまり取り上げられていないですよ。
金子委員	提言1の次期の環境基本計画についてですが、新たな環境課題が発生していると思うので、新たに項目をつくり目標を設定して、実効性のある計画になるように、新しい課題を盛り込む旨を一言加えていただきたいと思います。また、前段の部分で下から4行目の成果という表記は除いたほうがいいと思います。
猪俣委員	聞いていて指標をつくるのは難しいと感じました。また、県では環境部があり、様々なセクションに分かれています。規模が違えばまた難しいのかなと思います。
桑原委員	率直に計画は立派だと思いましたが、進捗が弱いと感じました。私としては具体的な指標がきちんとあったほうがいいと思います。
保角委員	計画や目標が立派なものだけにハードルが高いのではないかと感じます。自治会やコミュニティの話がありましたが、北本市は小さなまちですが地域によって全く異なる環境をもっていると感じていますし、課題も違うと感じます。その地域の身近な課題を目標にできれば、市民にも意識しやすく参加しやすいものになるのではないかと思います。市民の学習会というものも、そういった身近な課題について取り上げるものになればいいと思います。

会 議 記 録

堂本会長	今日出た意見を踏まえて、答申を作り直し、皆さんにお送りしたいと思います。よろしいでしょうか。  (異議なし)
市民経済 部長	閉会挨拶 一略一  4 閉会

議事の顛末・概要を記載し、その相違なきを証するためにここに署名する。

平成 26年 11月 25日

会 長 堂本春章